



節水キャラクター
節水ちゃん

節水強化月間終了 ご協力ありがとうございました

熊本市が平成17年度から平成19年度の各7月に取り組んだ節水社会実験では、削減率が2.3%、3.1%、7.0%と年を追って上向きましたが、本年度は残念ながら低い削減率にとどまりました。

平成
20年度

節水強化月間 結果発表

昨年度まで毎年7月に行ってきた「節水社会実験」を、今年度から7月～9月の「節水強化月間」にパワーアップして取り組みました。その結果、目標値(市民1人1日あたりの水使用量10%削減・230ℓ)に対し、7月の節水啓発月間は**0.3%削減**、8月の節水器具普及月間は**5.1%削減**、9月の漏水防止月間は**6.3%削減**となりました。

梅雨明けが例年よりも早く、猛暑日も多かったことなどから水使用量が増加したと考えられますが、熊本の地下水を守るためには、天候にも左右されないもう一歩踏み込んだ一人ひとりの節水の取り組みが必要です。わくわく節水倶楽部の加入者は着実に増加し、また、わくわく節水キャンペーンの応募者も増えるなど節水運動は広がりを見せています。会員の皆さんにおかれましても、是非地下水が減少している現状や節水の方法等を周囲の方々にお知らせいただき、節水実践の輪がさらに広がるようご協力をお願いします！ なお、7月の節水啓発月間の結果については下記のカレンダーをご覧ください。

7月のお天気&節水カレンダー

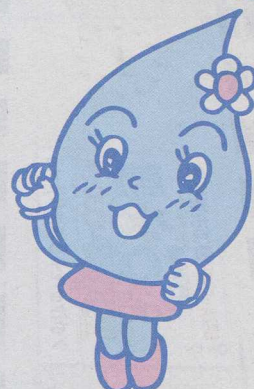
月	火	水	木	金	土	日
天気	☀/☂	☂	☁	☁	☀/☂	☀
市民一人一日あたりの生活用水使用量 青…基準値以下 赤…基準値以上	247ℓ	238ℓ	243ℓ	244ℓ	240ℓ	254ℓ
7	8	9	10	11	12	13
261ℓ	262ℓ	259ℓ	261ℓ	251ℓ	244ℓ	250ℓ
14	15	16	17	18	19	20
259ℓ	260ℓ	263ℓ	251ℓ	242ℓ	242ℓ	243ℓ
21	22	23	24	25	26	27
251ℓ	255ℓ	259ℓ	262ℓ	259ℓ	250ℓ	253ℓ
28	29	30	31	7日間連続の猛暑日！		
265ℓ	263ℓ	257ℓ	259ℓ	☀…30度以上の真夏日 ☀…35度以上の猛暑日 ☂…雨 ☁…曇り		

※基準値とは、H14年度の熊本市民一人一日あたりの水使用量254ℓのことです。

ま
ち
っ
と
節
水

も
ち
っ
と
節
水

-10%



これからも、さらなる節水にご協力をお願いします。

2008

【節水強化月間の経過】

6月3日～10月24日 節水チャレンジ学習実施(12校)

6月8日～8月10日 節水チャレンジ小学校への節水コマのとりつけ(7校)

節水コマの
取り付けの様

6月24日～ わくわく節水倶楽部 第5号会報誌発送

6月30日～ わくわく節水倶楽部メールマガジン配信開始

7月1日 節水強化月間開始式・節水啓発月間開始

7月1日～ 「わくわく節水キャンペーン2008」応募受付開始(10/6まで)

7月2日～8月1日 節水コーナー設置(市役所1階ロビー他)

7月19日 ゆかた祭りで「節水PRうちわ」の配布

7月26日～7月27日 すばいすフリーマーケットでの節水啓発

7月31日 節水啓発月間終了

8月1日～8月31日 節水器具普及月間

8月13日～9月19日 節水コーナー設置(市役所1階ロビー)

9月1日～9月30日 漏水防止月間



節水強化月間
開始式の様



●(株)鶴屋百貨店

懸垂幕・看板



●南九州
コカ・コーラボトリング(株)
(産業文化会館壁面)

応援会員紹介

今年も、会員の皆様に様々なご支援を頂きました。
ご協力ありがとうございました。

館内放送 うちわ パンフレット等配布

- くまもと阪神(株)県民百貨店
- (株)鶴屋百貨店
- (株)ダイエー熊本下通り店
- (株)ダイエー熊本店

会員の節水活動レポート



7月から始まった節水強化月間では、ご協力ありがとうございました。

ここでは、今後の節水の参考として頂く為に、団体・企業・個人別に会員の皆さんの節水の取り組みを紹介していきます。

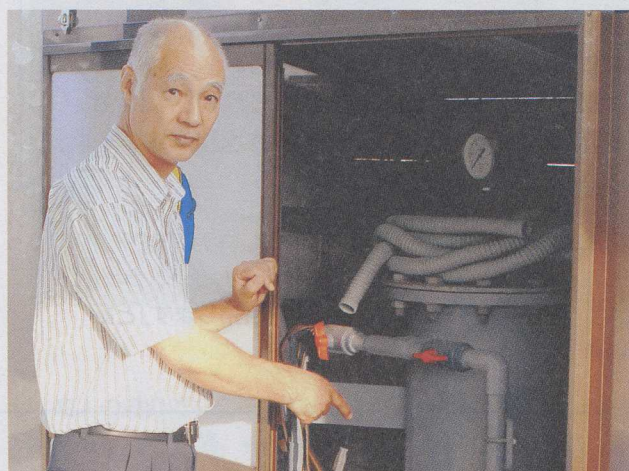
◎わくわく節水倶楽部の入会状況 [平成20年10月末現在]

延べ構成人数13万8434人

[134団体、387事業所、14行政機関、1070個人(世帯)]

団体

白羊保育園様



プールサイドに備えられた水質浄化装置を指差す角野園長。「6—9月のプールシーズン中の水交換はわずか2回で済むんですよ」



手洗い場には、ボタンを押すと一定量の水が出て、自動的に止まるタイプの水栓を採用。水の出し過ぎを防いでいる

施設随所に節水の工夫
夏場は3—4万円の削減も

経費節減とともに、子どもたちに水の大切さを伝えようと、施設の随所に節水の工夫を施している、熊本市島崎の白羊保育園(角野嘉哉園長、園児数104人)。同園が最初に取り組んだのはトイレ設備の節水化でした。流水タンク内のバルブを節水仕様に変更。1回流すごとに、5ℓの水の節約につながるという優れものです。

さらに角野園長(61)は、「最も節約に貢献している」と、プール(約18立方メートル)の浄化設備を紹介してくれました。プールの水をポンプでくみ上げ、活性炭フィルター入りのタンクで浄化、プールに戻す仕組みです。衛生面から、通常は最低でも5日おきに水を替えなければならないそうですが、「この設備だと6—9月のプールシーズン中、2回の交換で済む」と角野園長。「夏場の水使用量は以前より3—4万円節約できています」

そのほか、手洗い場には、ボタンを押すと一定量だけ水が出て自動的に止まるタイプの水栓を採用。衛生面などへの配慮から、トイレには、吐水口の下に手を差し出すと自動で水が出て、手を遠ざげると水が止まる水栓を設置し、水の出し過ぎを防いでいます。

一方で、園児らは①手洗いの水を出しっ放しにしない②歯磨きにはコップを使う③たらいなどにためた水の中で遊ぶ④花の水やりにプールの水を再利用—などを先生たちの指導で実践しています。角野園長は「子どもにとって水は遊具の一つ。節水の徹底は難しいですが、いろんな行為の中から、水を使うにもルールがあることを徐々にでも分かってくれば」と期待しています。

白羊保育園の主な取り組み

- トイレの流水タンクに専用バルブを装着し、水量を調整
- プールの浄化設備を充実させ、水の交換回数を削減
- 手洗い場に、ボタンを押すと一定量だけ水が出て止まる水栓、トイレには、吐水口に手を差し出すと自動で吐水、離すと水が止まる水栓を採用し、水の出し過ぎを防止
- 歯磨きにはコップ使用を園児に徹底
- プールの水を花の水やりに再利用
- 熊本市水保全課の「節水教室」を活用



夏場は花の水やりにプールの水を再利用



くまもと阪神の多目的トイレ
節水弁を取り付け、環境に配慮した

熊本市桜町のくまもと阪神では、毎年6月の環境月間から7～9月の節水強化月間にかけて、店内放送で節水の呼び掛けを行うほか、日ごろから館内の全トイレに節水ステッカーを張り、利用者に広く節水を呼び掛けています。

同百貨店の節水対策は、平成15年夏から秋にかけての客用トイレの改装で本格化。「すべての便器に節水弁を導入。また、女性用トイレに擬音装置を設置するなど、節水対策を強化しました」と同社ディビジョンマネージャーの石本博史さん。さらに「約400人の従業員用トイレの洗面所や便器にも節水弁を設置。また、使用頻度の高いトイレは自動水栓に切り替え、節水に努めています」その結果、今年4～9月期のトイレ雑用水(井戸水)の

全館のトイレで節水を図り、使用量は前年比4%減に

くまもと阪神の主な取り組み

- わくわく節水倶楽部の節水ステッカーを、館内の全トイレに張り、節水を呼び掛ける。
- 毎年6月の環境月間から7～9月の節水強化月間にかけて、店内マイク放送で節水を呼び掛ける。
- 全トイレの便器に節水型弁を導入。
- 女性用トイレに擬音装置を設置。
- 従業員用トイレにも節水弁を取り付けたほか、使用頻度の高いトイレには自動水栓を導入した。

使用量は、前年同期の1万7791㎡に対し、1万7097㎡と4%減となりました。石本さんは、「今後は節水対策はもとより、環境全般を考えた取り組みを目指します」と話しています。



熊本市桜木の(有)北村プレス工業所は、ペットボトル・キャップを一貫製造するメーカーです。製造過程で大量の水を使用するため、同社は長年節水に取り組んできました。その功績が認められ、平成7年に「肥後の水資源愛護賞」を受賞。熱心な活動は高く評価されています。

注目の取り組みは雨水貯留タンク(6㎡)の雨水を機械の冷却に循環利用していること。また、工場裏手の雨水槽の水はトイレに使用しているほか、駐車場のコンクリートを透水性にして雨水かん養にも努めているそうです。最近、工場内の洗面所、トイレの蛇口をセンサー式に一新。水の無駄遣いをさらに減らしたとか。管理職以上の社員には毎月の水、電気の使用量を知らせるなど、常に節約を心掛けてもらう意識付けにも余念がありません。

機械の冷却は雨水で社員には節水を意識付け

北村プレス工業所の主な取り組み

- 雨水貯留タンクを設置し、機械の冷却に循環利用
- 雨水槽の水をトイレに利用
- 雨水かん養のため、駐車場のコンクリートを透水性に
- 洗面所やトイレの蛇口をセンサー式に
- 節水意識を社員に浸透させる為、毎月の水使用量を管理職以上に通達



節水術の秘密兵器「アクリルたわし」を披露する中林さん。これで食器類を洗うと汚れ落ちの良さが歴然。洗剤が少量しか要らないため、すすぎ水も少なく済むという

日常気軽にできる節水術 小さな積み重ねが大切に



トイレの流量レバーの大小使い分けも、いまや当たり前

知人の紹介で2年ほど前から節水活動を実践しているという熊本市八反田の主婦、中林美智代さん（40）。「最初は、わくわく節水倶楽部の調査票に月々の水使用量の現状などを記録するだけでしたが、数字を眺めているうちに『何かしなきゃ』って、気になり始めたんですよ」

中林さんは、日常生活の中で苦にせず気軽に取り組めるようにと、2〜3カ月かけて「歯磨きや洗顔、手洗いなどの際、水を出しっ放しにしない」「風呂の残り湯を洗濯に使用」「食器洗いは、クッキングペーパーで油汚れをぬぐった後、洗いおけにためた水で行う」「トイレの流量レバーの大小を使い分ける」一などの活動項目を1つずつ増やしていったそうです。節水への意識は、ご主人や子どもたちにも徐々に浸透、中林さんは「今では節水が当たり前になりました」と目を細めます。

さらに中林さんは、節水術の「秘密兵器」として、アクリル毛糸で編んだ「アクリルたわし」を紹介してくれました。「これで食器やお鍋をこすると、汚れがとにかくよく落ちるんですよ。洗剤があまり要らないので、すすぎ水が少なくて済みます」

小さな行動の積み重ねが効を奏し、水使用量は節水に取り組む以前に比べ、月平均で1〜2立方センチほど削減できているそうです。

「誰もがやっていること。人に自慢できるほどではありません」と中林さん。今後は、節水コマや節水おもりなどの専用グッズを活用し、さらに本格的な節水にチャレンジしてみたいと話していました。

中林美智代さんの主な取り組み

- 歯磨きや洗顔、手洗いなどの際、水を出しっ放しにしない
- 風呂の残り湯を洗濯に活用
- 入浴の際は、一度湯船にためたお湯で、家族全員続けて入る
- 食器・鍋類を洗う際は、たらいにためた水を使って行う
- 食器などの油汚れがひどい場合は、クッキングペーパーで汚れをふき取ってから洗う
- トイレの流水は大小のレバーを使い分ける
- 室内の水回りに節水ステッカーを張り付け



わが家の節水項目をチェックする中林さん



「わが家・我が社では、このような節水に取り組んでいます」という情報を、事務局までお知らせください。会報誌等でご紹介させていただきます。

熊本市の地下水保全の取り組み

地下水は、雨水などが、かん養域(水田、畑地、草地、林地など、地下水をしみこませ蓄えておける場所)から地下にしみこんだものです。地下水を守るためには、このかん養域を守るとともに、かん養を促進する必要があります。ここでは、森林や水田における熊本市のかん養対策をご紹介します。

節水対策の他にも
地下水かん養対策に
取り組んでいるよ！



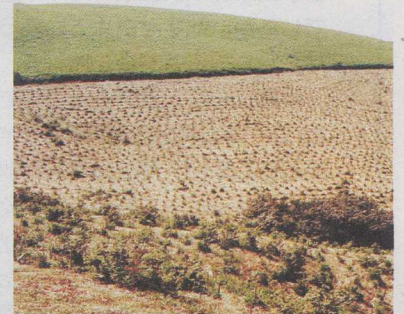
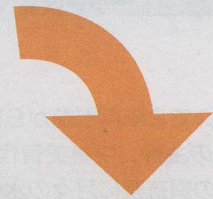
水源かん養林の整備

森林の土壌は、雨水を貯留するとともに、河川へ流れ込む水の量を調節して洪水を防止するなど、川の流量を安定させる機能を持っており、このような働きを持つ森林を水源かん養林と言います。熊本市が管理している森林はすべて水源かん養林と位置づけられ、水源かん養機能を高く発揮することができるよう整備されています。

具体的には、白川流域などを中心に、近隣市町村と協定を結び、約650ヘクタールにわたり水源かん養林を整備しています。本市が造林者となり、植付け後の下刈り・枝打ち・除間伐などの保育管理を実施しています。このあとに取り上げる白川中流域の水田かん養を進める上でも、白川の水量を長期・安定的に確保することが必要となります。



植付け前



植付け後

参加しませんか？ 水源の森づくりボランティア活動

森林ボランティア活動を通じて、森林の持つ機能が、貴重な資源である地下水の保全に役立つことを認識し理解を深めてもらうとともに、森林保全活動の活性化を図るために「森林ボランティア」を育成しています。市民参加型の森づくりを目指し、植林や間伐などの森林作業体験を通して、森づくりに必要な技能、知識を習得していただいています。



植付け作業風景 思ったより大変！



間伐材を使った木工教室などもあります

白川中流域の 水田における 地下水かん養

熊本市と近隣の12市町村からなる熊本地域(面積約1,000km²、人口約100万人)は、同じ地下水盆の上にあり、上水道をほぼ100%地下水でまかなう、全国でも珍しい地域です。この熊本地域では、年間約6億4千万m³の地下水がかん養されています。うち約2億1千万m³が水田からのかん養によるもので、全かん養量の約3分の1を水田が担っています。

特に、白川中流域(大津町、菊陽町)の水田は、県市共同で行った調査により、他の地域の水田に比べ約5～10倍のかん養能力があることがわかっており、約9千万m³の地下水をかん養するなど、熊本地域の大きなかん養域となっています。熊本地域の地下水の流れの一つに、阿蘇外輪⇒白川中流域⇒江津湖方面という経路があり、白川中流域で育まれる地下水は熊本市にとってとても重要なものです。



白川中流域の水田

しかし、宅地化や転作により、水田の作付面積は年々減少を続けており、地下水減少の大きな要因となっていることから、地下水を守るために水田を守っていくことが必要となります。

そこで、熊本市では、大津町、菊陽町そして水循環型営農推進協議会と平成16年1月「白川中流域における水田湛水推進に関する協定」を締結し、地元の農家の皆さんの協力をいただきながら水田湛水事業を実施しています。

これは、白川中流域の水田が、熊本市の地下水にとって重要なかん養域であることから、転作が進む中、水を張らなくなった水田に水を張っていただこうと、地元農家のみなさんが営農の一環として行う湛水に対して、助成金を交付するものです。

水田に水を張ることは、地下水かん養に大きく貢献しているだけでなく、田んぼの地力を向上させ、安全かつ高品質な農産物を収穫することができます。この地下水をかん養した白川中流域の農地で栽培されたにんじんやさといもなどは「水の恵み」ブランド名で販売されています。



水田の水張り風景



水の恵みブランドとして
販売されている人参

白川中流域との交流連携に取り組んでいます

白川中流域の農業が果たす地下水かん養の重要性に関する理解を深めると共に、大津町、菊陽町及び熊本市の相互理解と交流を促進するため、地下水かん養域である白川中流域の水田において、地元自治体等との協力連携のもと、米づくり体験や地下水に関する学習等を行う「田んぼの学校」を開催しています。

毎年4月末頃、学校を通じて、小学校5年生を対象に参加者を募っています。是非ご参加ください。



収穫したお米を手に「はい、チーズ★」

節水ちゃんみこしを作ったよ！
弓削校区4町内子ど

弓削校区4町内子ども会のみなさん

お申し込み・お問い合わせは
水保全課(☎328-2436)まで。

※写真はイメージです

※当倶楽部へ入会の際に、メールアドレスを記入いただいている方はメールマガジンへの登録手続きは必要ありません。
※携帯からの登録手続きはできませんので、携帯メールへの配信を希望される方は事務局までご連絡ください。事務局で、登録手続きを行います。

KUMAMOTO WATER LIFE

日本一の
地下水都市
熊本

「熊本の水環境が好成績を挙げた」と全国トップ（1等）に輝くことが出来ました。
熊本県
環境水部

熊本市は「第10回（2008/9）日本水大賞クラブリ」を受賞しました。

崇城大学市民ホール
(市民会館)大会議室

応募方法 シンポジウムに参加ご希望の方は、〒860-8601 水保全課宛に
人数・氏名・住所(郵便番号も)・電話番号を書いて
ハガキでお申し込み下さい。定員300名(応募多数の場合は抽選)。
締め切り:12月16日(火)必着

☆詳しくは、水保全課までお電話またはホームページをご覧ください。

お問い合わせ

<http://www.kumamoto-waterlife.jp/>

